



北海道ファミリーハウス

— NPO法人 —

北海道ファミリーハウス通信

2015年6月30日発行/No.15

発行: NPO法人北海道ファミリーハウス
責任者: 理事・事務局長 大西 可奈
060-0807 札幌市中央区北7条西6丁目
TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/

第八回 通常総会ひらく

五月二十三日 札幌エルプラザ



総会の様子

「あいさつ」

皆様には日頃からファミリーハウス運動に対しご理解、ご支援を賜り

まして心からお礼申し上げます。

この一年間、会員やボランティアの皆様をはじめ多くの方々にご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

この一年間の利用実績を見ると、比較的安価なホテル利用へと変化しています。これは金銭的負担に加え、プライバシーに対する意識の変化があると考えています。

引き続き、患者さんや家族にとって金銭的な負担の低減や不慣れな土地での治療という精神的な負担の低減のお役に立つよう運動を進めて参ります。

今年度は、北海道で全国会議が開催されることとなり、ボランティアの皆さんには負担をかけますが宜しくお願いいたします。

この一年間の活動を振り返りながら、頂戴したご意見などを次年度に生かして参りたいと考えております。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■第八回通常総会

五月二十三日(土)

五月二十三日、札幌市エルプラザにおいて「第八回通常総会」を開催しました。

総会では、二〇一四年度事業報告、収支決算および監査報告を行い、報告どおり承認されました。

引き続き、二〇一五年度の事業計画・予算・役員について審議の結果、提案どおり決定されました。

■二〇一五年度事業・活動計画

一. 事業実施の方針

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を経済的並びに精神的に支援する活動を行っていきます。

二. 特定非営利活動に係る事業

(一) 援助及び支援活動

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者

家族）を支援するために、病院の隣接地区にあるファミリーハウス（賃貸住宅や宿泊施設等）の情報を提供し、ニーズに合わせ円滑な利用が図れるよう活動を行っていきます。

○ホテル利用者の割合が高くなる傾向にあることから、登録ホテルの充実を図ります。

○子どもの笑顔づくりの活動として、他団体との連携・支援を行います。

○治療に専念する子どもたちの希望に繋がる活動として、「そらぶちキッズキャンプ」を支援します。

(二) ファミリーハウスの設置及び運営

滞在施設を独自に開設し、運営できるように活動を強化していきます。また、道内の医療機関から紹介を受けて、道外の高度専門医療機関で治療を受ける患者家族に対しても、その地域のファミリーハウス紹介などの支援を行います。

(三) 道民に理解を求める広報

インターネットを中心にしながら、あらゆる広報媒体を使って、入院治療を受ける患者と小児がん等難病の子どもたち及びその家族の現状についてPRする活動を行います。

(四) 第十六回 JHHH ネットワーク会議

十月十八日(日) 札幌市で第十六回 JHHH ネットワーク会議が開催されることから、会場や講演会の準備など事務局（東京）と打ち合わせながら対応します。

また、当会の日頃の活動として行っている“子供の笑顔づくり”の取り組みを紹介するため「そらぶちキッズキャンプ」と連携し、ネットワーク会議参加者を中心に見学会を開催します。

ファミリーハウスの利用実績 ホテル利用：6,612日、オーナー物件：350日（H26.4.1～H27.3.31）

二〇一四年度 事業報告

一、特定非営利活動に係わる事業

(一) 援助および支援活動

①入院して治療を受けている子どもたちの笑顔作りの活動として、病院内で「ジャグリングショー」を上演し、子どもと家族を招待しました。



「ジャグリングショー」

十月十五日

「ジャグリングショー」

北大病院体育館

十二月四日「クリスマス」

北大病院プレイルーム

(小児科)



クリスマスプレゼント(木のベル)

(二) 道民に理解を求める広報活動

あらゆる広報媒体を通じて、道民に広くPRする活動を行いました。

①ホームページやガイドブックを活用し、活動内容とファミリーハウス施設情報を提供しました。

②パンフレットを活用し、活動内容のPRを行いました。

③PRチラシを各種イベントや病院などで配布しました。

④「NPOファミリーハウス通信」を発行(二〇〇〇部)

×二回)し、活動の状況などを紹介して運動への理解と支援に結びつける取組みをしました。

会員口数 (H27. 3. 31現在)

正会員	76口
賛助会員	2,199口
法人会員	1口

平成27年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	備考
I 収入の部		
1会費収入	100,000	個人、法人
2賛助金収入	2,200,000	個人、法人
3助成金収入	0	
4寄付金収入	0	
5事業収入	0	
6雑収入	200,000	全国会議補助
当期収入合計(A)	2,500,000	
II 支出の部		
1事業費	1,850,000	
(1)援助及び支援活動	1,100,000	通信費、交通費、他団体交流など
(2)ファミリーハウスの設置及び運営	300,000	ガイドブック、未就学児利用料補助など
(3)道民に理解を求める広報	150,000	会報紙、HP管理など
(4)全国会議および見学会	300,000	会場賃借・印刷費・バスなど
2管理費	650,000	
当期支出合計(B)	2,500,000	
当期収支差額(A)-(B)	0	

その他事業
なし

平成26年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支報告書
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	備考
I 収入の部		
1会費収入	86,000	個人、法人
2賛助金収入	2,199,000	個人、法人
3助成金収入	150,000	札幌信金社会福祉基金、共同募金会
4寄付金収入	70,000	我汝会さつぼろ、(株)オール、個人
5事業収入	0	
6雑収入	1,831	利息
当期収入合計(A)	2,506,831	
II 支出の部		
1事業費	1,301,701	
(1)援助及び支援活動	936,942	交通費、行事費、そらぶち支援など
(2)ファミリーハウスの設置及び運営	279,288	ガイドブック、パンフレット印刷
(3)道民に理解を求める広報	85,471	ファミリーハウス通信、広告費
2管理費	612,397	
当期支出合計(B)	1,914,098	
当期収支差額(A)-(B)	592,733	次期繰越額

その他事業
なし

ファミリーハウスの提供が終了しました



理事長 晴之
南谷

理事 南谷 晴之(再)
副理事長 金田 耕二(再)
理事・事務局長 大西 可奈(再)

ファミリーハウス運動に対し、各方面から多大なご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

■助成金(敬称略)

北海道共同募金会 十万円
札幌信用金庫社会福祉基金 五万円

■ご寄付(敬称略)

我汝会さつぼろ病院 一万円
株式会社オール 一万円
佐藤 隆(個人) 五万円

二〇一五年度第一回理事会を開催

第一回理事会を開催し左記のとおり選任しました。

◆◆◆◆◆
永年にわたりファミリーハウスとして提供いただきました「ファミリーハウスあんどう」さま、「原田荘」さまは提供を終了いたしました。これまでのご協力に心から感謝申し上げます。

ファミリーハウスあんどう

札幌市白石区菊水一条四丁目
安藤妙子さま

◆◆◆◆◆
原田荘

札幌市北区北十四条西四丁目
原田貞子さま

◆◆◆◆◆
ファミリーハウス運動は、施設のオーナーさま、ホテルの社会貢献など多くのボランティアに支えられています



そらぶちキッズキャンプ(公益財団法人) <http://www.solaputi.jp/>

病気とたたかう子どもたちに夢のキャンプを行うため、日本ではじめて医療施設を完備し、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設け、自然の中で病気のことを忘れ笑顔で楽しいひとときを過ごすことを目的としています。